

No.71

領域：	グローバル、パブリック、ビジネス		
テーマ：	グローバル化時代の地球規模課題（グローバル・イシュー）を学ぶ		
担当者名：	真崎克彦		
開講時期：	前期：木曜 4・5・6限	募集定員：	25名
内容：	地球社会では近年、グローバル化（国境を越えた貿易や資本、労働力の動き）が飛躍的な進展を見せており、その経済的恩恵は世界のすみずみに広まるようになった。他方、国家による経済規制や開発推進の余地は狭まった結果、世界各地では人間の生命や生活に対する脅威も際立っている。紛争、環境破壊、自然災害、感染症、経済危機などといったグローバル・イシューの生起・激化である。こうした中、人びとの生存や尊厳が脅かされることのない状態、いわゆる「人間の安全保障」の実現に向けて歩を進めていくには、今日の地球社会をどう立て直せば良いのだろうか。本授業では、グローバル・イシューをめぐる根本的問題を見すえながら、この問いを探究していきたい。		
到達目標：	<p>（1）日本社会の根本的課題の探究を通して、「総合的マネジメント能力」（＝CUBEの理念、「問題の本質を見抜き、問題解決に向けた適切なアクションをやり抜く力」）の大切さを再認識し、それを向上させる意欲を高める。</p> <p>（2）地球社会のあり方の問題点を理解し、それらをどう乗り越えていけば良いのかについての見解を持てるようになる。</p>		
講義方法：	授業中は積極的に討論に参加することが義務付けられる。ディベート、グループ作業、パネル討論などの方法を用い、全員参加の形式で授業が進められる。また、グループ発表に対するフィードバックペーパーも毎回提出してもらう。		
準備学習：	<p>《第1回目～2回目》 指定された教科書を読み、まとめ・コメントをA4用紙1枚に準備してくることが求められる。受講者全員が宿題をしてきたことを前提に授業を進める。</p> <p>《第3回目～第15回目》 グループ発表を軸に進める。各受講者には複数回の発表機会が与えられるが、その際にはパワーポイント資料を用意してくる。</p>		
成績評価：	レポート（20%）、グループ発表（30%）、理解度テスト（20%）、平常点（30%）		
欠席基準：	3分の1以上を欠席した場合、単位を修得できない。また、理解度テストを学期中に実施し、そのテスト結果を踏まえて単位取得の可否を決めたい。単に出席するだけでは、自動的に単位が修得できない場合もあるので要注意。		
講義構成：	<p>《第1～2回目》 講義、全体討論</p> <p>《第2～8回目》 教科書（『グローバル時代の「開発」を考える』）を読み進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幸せ」や「豊かさ」とは？（序章、1章） ・「公正な社会」とは？（2章） ・「多文化共生」とは？（3章） ・「平和」な世界とは？（4章） ・「参加」（5章） ・「居場所」とは？（6章） ・「自分の世界」から踏み出す（終章） <p>《第11～15回目》 教科書（『改訂版 国際社会を学ぶ』）を読み進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデンティティの国際政治学（Ⅰ部、アジア諸国の事例） ・地球文化のゆくえ（Ⅱ部、戦争や格差の問題、北欧文化、地球社会など） ・人類益に向けた国際協力（Ⅲ部、地球規模課題、子どもの権利、援助、国連など） 		
履修条件：	<p>1) 『グローバル時代の「開発」を考える』</p> <p>2) 『改訂版 国際社会を学ぶ』</p> <p>* 指定教科書を全て各自で購入し、しっかりと読み込むことが単位取得の条件です。</p>		
推奨科目：	---		
選考方法：	---		
備考：	---		
説明会：	---		